

2023 年度

講義科目名称： 日本語学概論A

授業コード： 24022

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日時限			
前期： 火曜4限			
配当学科・学年			
教育1(64)、教育1(65)、教育1(66)			
担当教員			
林田 定男			
添付ファイル			
授業テーマ	日本語の音、文字、文法、語彙等の特徴についての知識を習得し、理解を深める。		
講義概要	日本語学の基礎的な知識を学ぶ。具体的には、日本語の音声、文字、文法、語彙等を学び、それぞれの特徴について理解を深める。身近な例や既習の知識についてはグループ等でディスカッションし、随時発表する。		
到達目標	① 日本語の「音声・音韻」の諸特徴について理解し説明できる。 ② 日本語の「文字」について理解し説明できる。 ③ 日本語の「文法」の諸特徴について理解し説明できる。 ④ 日本語の「語彙」の特徴について理解し説明できる。 ⑤ 「言語生活」について理解し説明できる。		
評価方法	課題・レポート・小テスト (50%) 定期試験 (50%)		
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストは採点后返却して解説する。</li> <li>受講者が毎回記入するコメントカードを通して、疑問に答える。必要に応じて受講者全員にも説明する。</li> </ul>		
評価基準	<b>【最低水準の到達度〈可〉】</b> ① 日本語の「音声・音韻」の諸特徴について6割程度理解し、課題を提出している。 ② 日本語の「文字」について6割程度理解し、課題を提出している。 ③ 日本語の「文法」の諸特徴について6割程度理解し、課題を提出している。 ④ 日本語の「語彙」の特徴について6割程度理解し、課題を提出している。 ⑤ 「言語生活」について6割程度理解し、課題を提出している。 <b>【最高水準の到達度〈秀〉】</b> ① 日本語の「音声・音韻」の諸特徴について9割以上理解し、課題に対して問題意識をもって取り組んでいる。 ② 日本語の「文字」の諸特徴について9割以上理解し、課題に対して問題意識をもって取り組んでいる。 ③ 日本語の「文法」の諸特徴について9割以上理解し、課題に対して問題意識をもって取り組んでいる。 ④ 日本語の語「語彙」の特徴について理解し9割以上理解し、課題に対して問題意識をもって取り組んでいる。 ⑤ 「言語生活」について9割以上理解し、課題に対して問題意識をもって取り組んでいる。		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	築島裕『国語学』東京大学出版会 衣畑智秀編『基礎日本語学』ひつじ書房 工藤浩ほか『日本語要説』ひつじ書房 その他、必要に応じて紹介する。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>配付資料はあくまでも補助的なものである。板書やスライド、説明はノートに記録すること。</li> <li>授業へはただ参加するのではなく参画するようにすること（グループワークの際には、周囲の人と協力すること等）。</li> <li>毎回提出するコメントカードには、質問・授業の要約・感想などを丁寧に書くこと。</li> </ul>		
準備学習<予習・復習の時間・内容>	2単位の修得には、2時間×15回の授業のほかに合計60時間（4時間×15回）の事前事後学修が必要です。それぞれ30時間の事前学習（予習）と事後学習（復習）を目安に学習に取り組んで下さい。 <b>予習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>提出された事前課題に取り組む。</li> <li>レポート課題について調査する。</li> </ul> <b>復習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義後に配布プリントやノートを見てよく復習し、小テストの準備をする。</li> </ul>		
オフィスアワー等	質問は、毎回提出するコメントカードへの記入および講義終了時、あるいは月曜2限に受付ける。		
備考・メッセージ	課題等は遅れても提出すること。		
ディプロマポリシー	学教：DP2、特支：DP2		
科目ナンバリング	学教：ED-E-EA1033-A34、特支：ED-E-EA1033-A34		

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	林田 定男	オリエンテーションー日本語を対象とする研究にはどのようなものがあるかー	講義の概要、評価方法などについて知る。 日本語学とはどのような学問であるのかを理解する。		
2	講義	林田 定男	日本語の音声・音韻① 音声器官と発音の仕組み	音声器官と調音について理解する。 日本語の発音の仕組みを理解する。 母音と子音を理解する。 日本語の母音と子音の特徴を理解する。		
3	講義	林田 定男	日本語の音声・音韻② 音声と音韻／音節とモーラ／アクセントとイントネーション	音声と音韻との違いを理解する。 音節とモーラとの違いを理解する。 アクセントの働きについて理解する。 イントネーションの働きについて理解する。		
4	講義	林田 定男	日本語の音声・音韻③ 古代日本語の音	「上代特殊仮名遣」について理解する。 「いろは歌」「五十音図」について理解する。		
5	講義	林田 定男	日本語の音声・音韻④ 中近世日本語の音	「連声」について理解する。 「四つ仮名」について理解する。		
6	講義	林田 定男	日本語の文字① 漢字	漢字の成り立ちについて理解する。 漢字受容の歴史について理解する。 湯桶読み・重箱読み・熟字訓・同音漢字・同訓漢字・多訓漢字・多音漢字などの述語とその意味を説明できる。 「常用漢字」について理解する。		
7	講義	林田 定男	日本語の文字② ひらがな	平仮名の成り立ちについて理解する。 ひらがな文の特徴について理解する。 仮名遣いの歴史の概要について知る。 「現代仮名遣い」について理解する。		
8	講義	林田 定男	日本語の文字③ カタカナ	カタカナの成り立ちについて理解する。 カタカナ文の特徴について理解する。 印刷は文字に何をもちたかを知る。		
9	講義	林田 定男	日本語の文法① 品詞・活用	日本語の品詞について理解する。 古典語／現代語の活用型、活用形について理解する。		
10	講義	林田 定男	日本語の文法② テンス／アスペクト／ヴォイス	現代日本語のテンス／アスペクトの種類について理解する。 現代日本語のテンスとアスペクトとの違いについて理解する。 現代日本語の受身表現の特徴について理解する。 現代日本語の可能表現の特徴について理解する。		
11	講義	林田 定男	日本語の文法③ モダリティ／敬語	現代日本語のモダリティの特徴について理解する。 現代日本語の敬語について理解する。		
12	講義	林田 定男	日本語の語彙① 語彙、語構成	語の体系的把握について理解する。 語構成について理解する。		

13	講義	林田定男	日本語の語彙② 和語・漢語・外来語／位相語	和語、漢語、外来語の区別について理解する。 位相差、役割語について理解する。		
14	講義	林田 定男	言語生活①	ことばによるコミュニケーションの多様性を理解する。 名乗り／仮名等について理解する。		
15	講義	林田 定男	言語生活②	ことばによるコミュニケーションの多様性を理解する。 忌み言葉、呪文について理解する。		

#### 授業方法

	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	資料を配付し、適宜パワーポイントを使用する。	90分×15